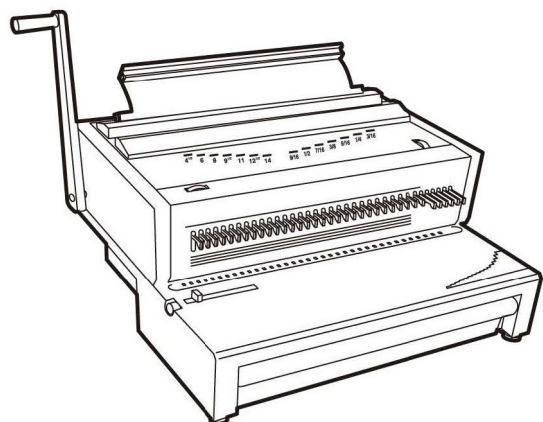




取扱説明書

ツインループバインド E-Karo 40



アコ・ブランド・ジャパン株式会社

はじめに

このたびはGBCツインループバインドE-Karo 40をお買求めいただき、ありがとうございました。
ご使用になる前に、必ず取扱説明書をよくお読みいただき、
未永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。
本取扱説明書は必ず保管してください。

目次

1.内容物の確認	1
2.ご使用上の注意	2
3.各部の名称と働き	4
4.ご使用の前に	6
クローザーハンドルの取付	6
フットスイッチの接続	6
電源の接続	7
5.操作方法	8
パンチ	8
バインド	10
6.お手入れ方法	13
7.こんな時は	14
8.製品仕様	16
◆保証とサービス	

お客様へ

- ★小さなお子様自身の使用、または小さなお子様がいらっしゃる環境での使用は絶対にしないでください。
また使用後は必ず電源スイッチを切り、電源プラグも抜いてください。
- ★本機は制振性を高めるために底面にゴム製の足(ゴム足)を使用しております。一般に、ゴム製品に接する面の材質によっては(特にビニル系)、接触すると褐色に変色することがあります。
本機を置く場所の材質によって、変色を避けるためゴム足が直接触れないようにマット等の保護材を使用してください。

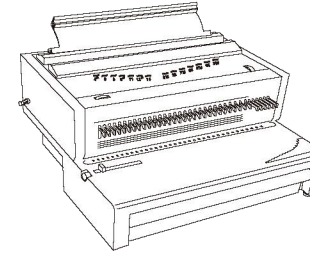
8・製品仕様

商品名	E-Karo 40
品番	GTLEKARO
サイズ(W)x(D)x(H)	420 x 385 x 260 mm
質量 kg	26.0 kg
電源	AC 100V, 50/60 Hz
消費電力	200 W
最大加工幅	297mm まで (A4 サイズ長辺)
最大加工厚	14 mm まで
パンチ	電動式 ワンパンチ20 枚 (コピー用紙)
定格時間	連続運転
バインド	手動式バインド

1・内容物の確認

下記のとおり、本体及び付属品が同梱されていることを確認してください。

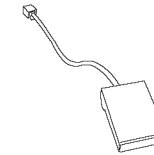
マシン本体



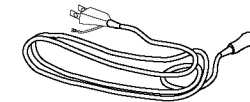
クローザーハンドル



フットスイッチ



電源コード



※必ずアースを接続してご使用ください。
電源プラグをコンセントへ接続する前に、必ずアース線を接続してください。また、アース線を外す時は必ず電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

※付属の電源コードは、本機専用です。
他の電気機器ではご使用できません。

取扱説明書 (本書)
(保証書)



2. ご使用上の注意

表示の意味



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。



警告



絶対にお子様には本機に接近したり、使用させないでください。
※けがをする恐れがあります。



絶対にペーパーパンチ部には手を入れないでください。
※けがをする原因になることがあります。



濡れた手で電源プラグを抜わないでください。
※感電の恐れがあります。



電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また、コードの上に重いものをのせたりしないでください。付属の電源コード以外は使用しないでください。
※火災、感電の恐れがあります。



ご自分で分解、改造、修理をしないでください。
※感電や思わぬけがをする恐れがあります。



感電の危険があります。サービスマン以外は分解しないでください。
修理に関するお問い合わせは、販売店、又は弊社へお願いします。



万一、煙が出たり、変な臭いがするなど、異常な状態になりましたら、使用を中止して、電源プラグを抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。

	原因	対処法 (参照ページ)
製本後、書類がはずれてしまう	◇ワイヤーの左右の端が均等に閉まっていますか？ ◇最適なサイズのワイヤーを使用していますか？	ワイヤークローザー調整ダイヤル(B)を操作し、上下のワイヤークローザーが平行になるように傾きを調整して、再度閉め込んでください。(10ページ) 綴じる書類をサイズガイドにあて、使用するワイヤーサイズを確認してください。最適なサイズのワイヤーを使用して再度行ってください。(10ページ)
ワイヤーのつなぎ目が表の外にある	◇書類のセット方法が間違っていないですか？	下からオモテ表紙→製本したい書類→ウラ表紙の順にセットしてください。オモテ表紙側につなぎ目が見えなくなり、きれいに仕上がります。(11ページ)

7. こんな時は

	原因	対処法 (参照ページ)
電源が入らない	◇電源プラグが正しくコンセントに入っていますか？ ◇電源スイッチが“1”(オン)に入っていますか？	本機電源プラグをAC 100Vのコンセントに接続してください。(7ページ) マシン右側面にある電源スイッチを“1”(オン)にしてください。(7ページ)
パンチできない	◇一度にパンチする書類の枚数が多すぎませんか？	一度にパンチできる枚数は、コピー用紙：20枚以内、表紙用カバー2枚以内、透明シート2枚以内です。定格枚数以下にわけてパンチしてください。(8ページ)
パンチ穴がずれる	◇エッジガイドとパンチ部の奥に書類をきちんと当ててパンチしていますか？ ◇パンチする時に書類が動いていませんか？	パンチする時は、書類を左のペーパーエッジガイドとパンチ部の奥にきちんと当て、パンチしてください。(8ページ) 少量の書類をパンチする時は動いてしまうことがありますので、書類を支えながらパンチしてください。(8ページ)
ハンドルが戻らない	◇OHPシートやタック紙などパンチできないものをパンチしませんでしたか？	OHPシート・タック紙・和紙などはパンチすることができません。そのままの状態でお買い求めの販売店までご連絡ください。(9ページ)
ワイヤーが締まらない	◇使用するワイヤーサイズに合わせて、ワイヤークローザーが正しく調整されていますか？	ワイヤークローザー調整ダイヤル(A)を操作して、使用するワイヤーのサイズが表示されたガイドにワイヤークローザーを合わせてください。(10ページ)

⚠ 注意



本機はツインループを使用して綴じる製本機です。ツインループ製本以外の目的に使用しないでください。OHPシートやタック紙などは絶対にパンチしないでください。

※故障の原因になります。



ワイヤークローザーの中に手を入れないでください。クローザーハンドルと連動して動きますので注意してください。

※思わぬけがをする恐れがあります。



本機は重量がありますので、水平で安定した場所に設置してください。また、使用する机や台は丈夫でしっかりしたものを使用してください。

※けがをする原因になることがあります。



移動の際は落としたり、ぶついたりしないでください。

※故障の原因になります。



冷暖房のそば、高温多湿な場所、埃の多い場所で使用しないでください。

※火災、感電の恐れがあります。



本機に水などをかけないでください。

※火災、感電の恐れがあります。



使用しない時は必ずコンセントから電源プラグを抜いておいてください。

※火災、感電の恐れがあります。



電源プラグを抜く時は必ずプラグ部を持って抜いてください。

※火災、感電の恐れがあります。



必ずコンセントの近くで本機を利用し、電源プラグが容易に着脱できるように、コンセントの近くにもものをおかないでください。



電源は必ずAC100V電源をご使用ください。タコ足配線はしないでください。電源プラグをコンセントへ接続する前に必ずアース線を接続してください。またアース線を外す時は必ず電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

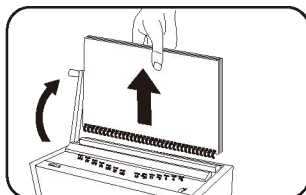
※火災、感電の恐れがあります。

⚠ 注意



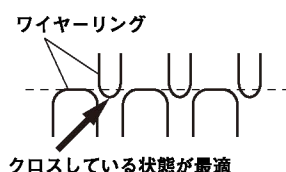
ワイヤークローザー部には絶対に手を置かないでください。クローザーハンドルを操作しますと、ワイヤークローザーは連動して必ず動きまゝ。※けがをする原因になることがあります。

- ⑥クローザーハンドルを垂直位置まで戻します。書類を上方へ取り出して裏表紙を返し、製本の完了です。



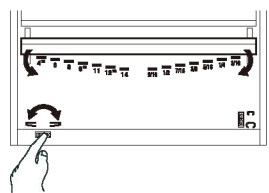
Tips

ワイヤーリングを閉じた時、右図のように、両端がクロスしている状態が最適な状態です。この状態になっていないと、製本後に脱落することがありません。

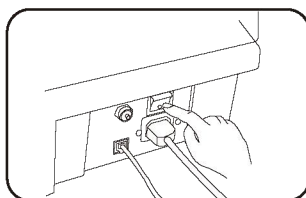


Tips

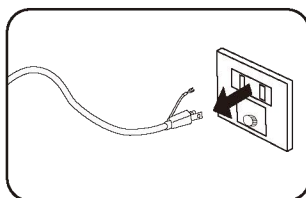
ワイヤーリングの左右が均等に閉められていない場合は、ワイヤークローザー調整ダイヤル(B)を操作して、上下のワイヤークローザーが平行になるように傾きを調整して、再度ワイヤークローザーにセットして閉め直してください。



- ⑦電源スイッチを“O”(オフ)側へ押しこんで、電源を切ってください。

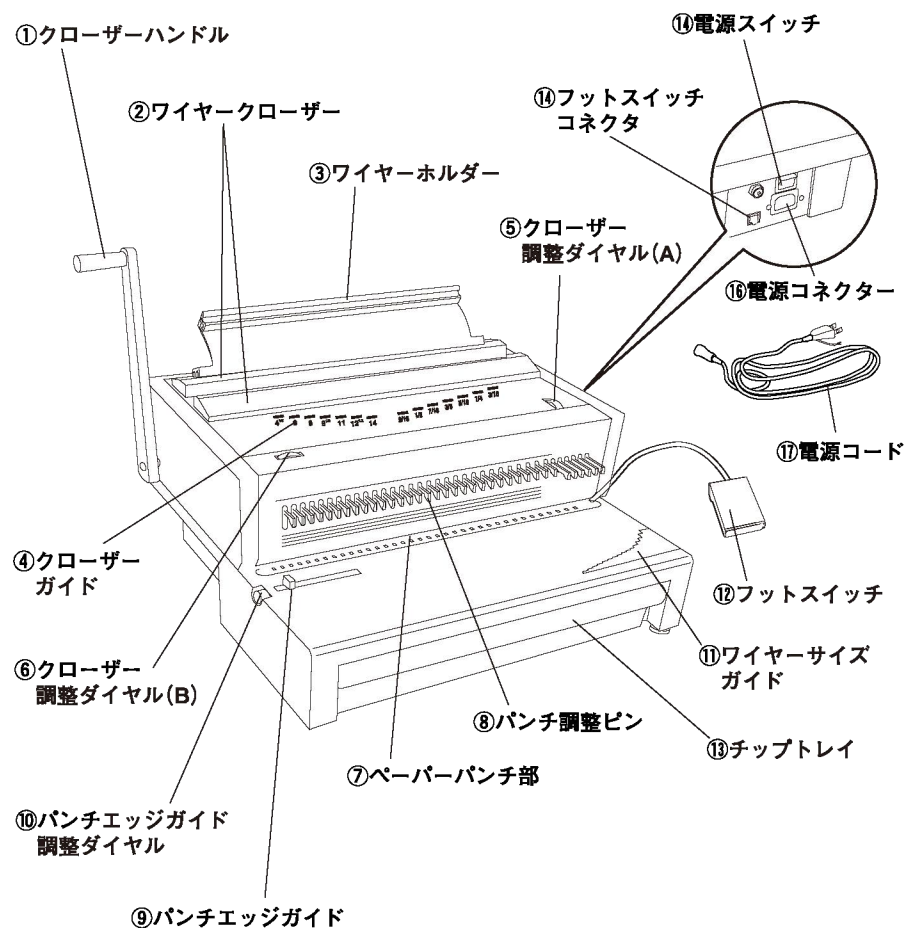


- ⑧電源プラグをコンセント(AC 100V)から抜いてください。次にアース線を外してください。



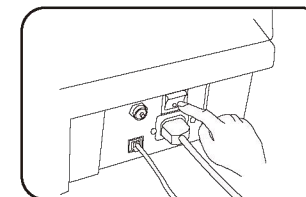
- ①クローザーハンドル
クローザーハンドルを操作して、ワイヤークローザーを移動させて、セットされたワイヤーリングを閉め込みます。
- ②ワイヤークローザー
クローザーハンドルの操作に連動して、ワイヤークローザーが移動し、セットされたワイヤーリングを閉め込みます。
- ③ワイヤーホルダー
パンチされた書類をツインループワイヤーにセットするために、このマグネットホルダーでワイヤーを固定します。S部では6・8・11mm、L部では14mmのツインループワイヤーを固定します。
- ④クローザーガイド
ワイヤークローザー調整ダイヤル(A)を操作して移動させ、使用するワイヤーリングのサイズに、ワイヤークローザーの位置を合わせてください。
- ⑤クローザー調整ダイヤル(A)
ワイヤークローザー調整ダイヤル(A)を操作して、ワイヤークローザーを移動させます。
- ⑥クローザー調整ダイヤル(B)
ワイヤーリングの左右が均等に閉められなかった場合は、ワイヤークローザー調整ダイヤル(B)を操作して、上下のワイヤークローザーが平行になるように傾きを調整してください。
- ⑦ペーパーパンチ部
ペーパーパンチ部の奥まで書類を入れてください。フットスイッチを押してパンチしてください。
- ⑧パンチ調整ピン
パンチ調整ピンを引き出して、パンチされないダイスを設定します。押し込まれたダイスはパンチできるようになります。引き出されたダイスはパンチされません。
- ⑨パンチエッジガイド
綴じる書類のサイズに合わせて、パンチエッジガイド調整ダイヤルを回してパンチエッジガイド位置を調整して、パンチする書類の左右の位置を決めてください。
- ⑩パンチエッジガイド調整ダイヤル
このダイヤル回してペーパーパンチ部にあるパンチエッジガイドを移動させます。
- ⑪ワイヤーサイズガイド
綴じる書類をサイズガイドにあてて、使用するワイヤーリングのサイズを決めます。
- ⑫フットスイッチ
フットスイッチを押すとパンチすることができます。
- ⑬チップトレイ
パンチされたチップ(紙くず)をためておくトレイです。
- ⑭電源スイッチ
このスイッチを押して、電源をオン(I)/オフ(O)にします。使用しない場合は、必ずオフにしてください。
- ⑮フットスイッチコネクタ
付属のフットスイッチをこのコネクタへ差し込んでください。
- ⑯電源コネクタ
付属の電源コードをしっかりと差し込んでください。
- ⑰電源コード
マシン右側面にあるコネクタに接続し、必ずAC100Vのコンセントへ差し込んでください。
※本機には必ず付属の電源コードを使用してください。同等品を使用する際は必ず許容電

3. 各部の名称と働き

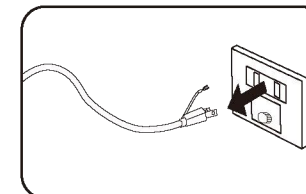


6. お手入れ方法

①電源スイッチをオフ(O)側へ押しこんで、電源を切ってください。

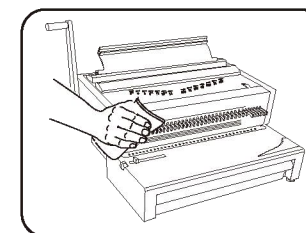


②電源プラグをコンセント(AC 100V)から抜いてください。次にアース線を外してください。



③やわらかい布でから拭きをしてください。

※お手入れはマシン本体の外部だけにしてください。



★汚れがひどい時は、中性洗剤をごく少量だけ布につけて拭いてください。

※シンナー・ベンジン等化学薬品は変色・変形・傷などの原因となりますので使用しないでください。

警告

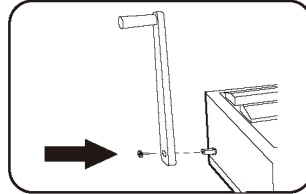


ご自分で分解、改造、修理を絶対にしないでください。
 ※感電や思わぬけがをする恐れがあります。

4.ご使用前に

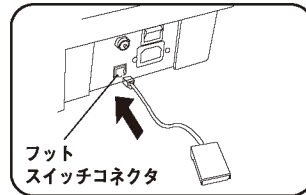
クローザーハンドルの取付

マシン左側面に仮止めされた固定用ネジを外してください。
次に、付属のクローザーハンドルを垂直にして、固定用ネジの取り付けてあったシャフトに入れ、外した固定用ネジで固定してください。

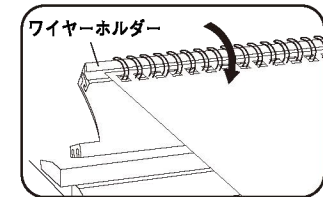


フットスイッチの接続

マシン右側面にあるフットスイッチ用コネクタに、付属のフットスイッチを接続してください。



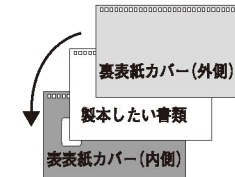
上向きに固定されたワイヤーに、パンチされた書類を差し込みます。



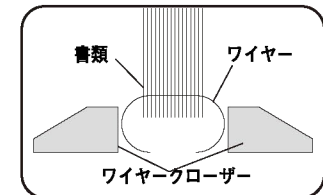
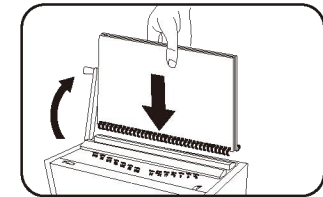
Tips

— 書類のセット方法 —

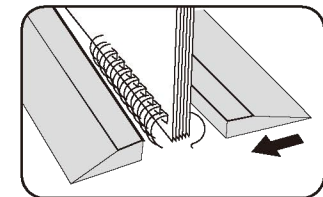
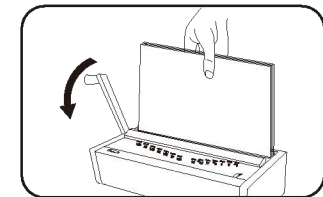
パンチをした書類を右図のように、下から表表紙カバー(オモテ表紙)→製本したい書類→裏表紙カバー(ウラ表紙)の順にセットしてください。
この方法でセットしますと、製本完了時に表表紙カバー(オモテ表紙)側につなぎ目が見えなくなり、きれいに仕上がります。



- ④クローザーハンドルを垂直立ててください。書類を持って、ワイヤーリングを下にしてワイヤークローザーの間に入れます。



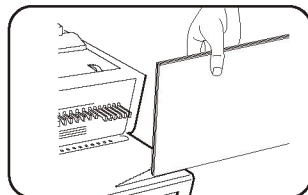
- ⑤書類を手で支えたまま、クローザーハンドルを下ろしてください。手前まで一杯に下ろせば、ワイヤークローザーがセットされたワイヤーリングを閉め込みます。



バインド

①ワイヤーの準備

製本する書類をサイズガイドに当て、厚さを計ってください。下表を参考に使用するワイヤーのサイズを決めて、用意してください。



使用ワイヤーサイズ	サイズガイド表示	適正綴じ込み枚数*
6 mm	6 mm・1/4"	~25 枚
8 mm	8 mm・5/16"	~35 枚
11 mm	11 mm・7/16"	~70 枚
14 mm	14 mm・9/16"	~110 枚

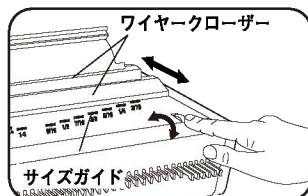
※PPC64g/m²使用の場合
※オモテ表紙・ウラ表紙を除く

Tips

綴じる書類の厚さよりも2~3mm大きなリングを使用すると、きれいに簡単に製本することができます。

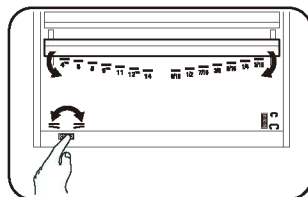
②クローザー調整ダイヤル(A)のセット

ワイヤークローザーの可動範囲を設定できます。調整ダイヤル(A)を操作して、ワイヤークローザーをクローザーガイドの使用するワイヤーサイズに合わせてください。



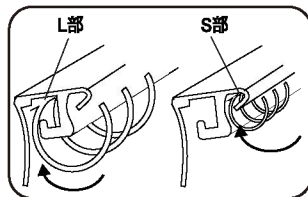
※クローザー調整ダイヤル(B)セット

ワイヤークローザーの左右に均等に力が加わるように、ワイヤークローザー調整ダイヤル(B)を操作して、上下のワイヤークローザーが平行になるように傾きを調整してください。手前側のクローザーだけが動きます。



③リングのセット

ワイヤーの細い先端側を手前にして、ワイヤーホルダーの溝に入れてください。ワイヤーは内部にある磁石により固定されます。6・8・11mmのワイヤーを使用する時は、ワイヤーホルダー(S部)を、14mmのワイヤーを使用する時はワイヤーホルダー(L部)を利用してください。

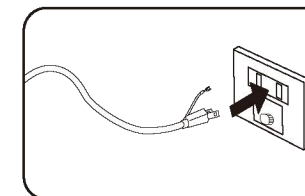


電源の接続

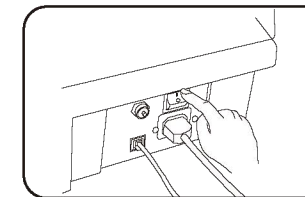
①マシン右側面にある電源コネクタに、マシン付属の電源コードをしっかりと差し込んでください。



②アース端子をアース接続した後に、電源コードをコンセント(AC 100V)に差し込んでください。



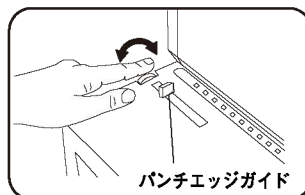
④③マシン右側面の電源スイッチを“I”(オン)側へ押しこんでください。モーターがフル回転になるまで約30秒お待ちください。



5・操作方法

パンチ

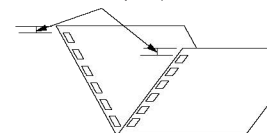
- ①ペーパーエッジガイドのセット
調整ダイヤルを操作して、パンチエッジガイドを書類に合わせて移動させてください。



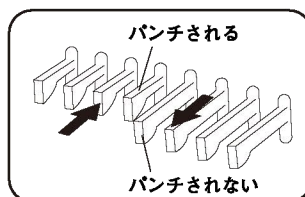
☆パンチする前に、書類のパンチ側をきれいに揃えてください。

☆綴じる書類をパンチする前に不要な紙にパンチをして、パンチ穴の位置が合っているか確認してください。

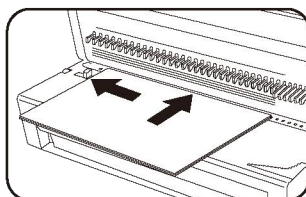
左右の余白が等しくなるように



- ②パンチ調整ピンのセット/解除
パンチ調整ピンを引き出したり押し込んだりして、綴じる書類のサイズに合わせてパンチされる穴数を簡単に変更することができます。A4長辺綴じをする場合は左から34ピンが押し込まれていなければなりません。パンチする前に確認してください。

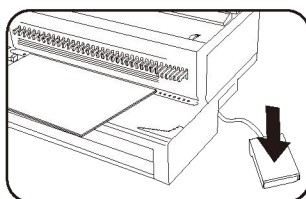


- ③ペーパーのセット
パンチする書類のエッジをきちんと揃えてください。書類を左側のペーパーエッジガイドへ当てて、ペーパーパンチ部の奥までしっかりと入れてください。



- ④書類を支えながらフットスイッチを押して、パンチしてください。

一度のパンチ枚数目安
20枚以内(コピー用紙64g/m²)
2枚以内(表紙用カバー200g/m²以下)
2枚以内(透明シート)



⚠ 注意



パンチ時、パンチ調整ピンは機械的に18mm下がります。手指はパンチ調整ピンの可動付近から遠ざけ、ペーパーパンチ部の上には物を放置しないでください。
※けがをする原因になることがあります。



機械の故障の原因となりますので、下記のパンチは絶対にしないでください。



パンチは20枚(コピー用紙64g/m²)以下にわけてパンチしてください。一度に多量の紙を入れて無理なパンチはしないでください。



表紙用カバー(200g/m²以下)や透明カバー(0.2mm厚以下)をパンチする場合は2枚以下に分けてパンチしてください。



ステーブルやクリップは必ず外してパンチしてください。



OHPシート・タック紙・和紙等はパンチしないでください。

- ⑤チップトレイの点検
パンチくずがたまり過ぎますと、故障の原因となりますので、定期的(1,000枚パンチ毎)にチップトレイのくずを捨ててください。

